

**東急グループが1,000組2,000名を無料ご招待するコンサート**  
**「TOKYU PRESENTS 和」～Vol.2～打楽器ライブ**  
**10月2日(火)に開催**

東 急 グ ル ー プ

東急グループ(代表:上條清文 東京急行電鉄(株)取締役会長)では、2007年10月2日(火)、Bunkamura オーチャードホール(東京都渋谷区)で、「TOKYU PRESENTS 和」～Vol.2～打楽器ライブを開催し、このコンサートに、1,000組2,000名を無料でご招待します。

「TOKYU PRESENTS 和」は、身近でありながら、普段はまとまった形で触れる機会の少ない日本の伝統文化とその今の姿について、新たな視点でご紹介するイベントで、今回が2回目の開催となります。

今回のテーマは“打楽器”の世界。伝統的な和太鼓の響きから、エンターテインメントに進化した“魅せる太鼓”まで、太鼓や鼓が奏でる知られざる多面性を、心ゆくまでお楽しみいただく一夜です。

出演は、「和太鼓若衆 鼗(おと)」(岡谷太鼓)、「望月太三郎」(鼓)、「筑紫寿楽」(博多金獅子太鼓)、「舞太鼓 あすか組」(舞太鼓)。そしてナビゲーターは、「林家たい平」です。

鑑賞をご希望の方には、東急グループホームページ(<http://www.tokyu.co.jp/group/>)の応募フォームから、または往復はがきでご応募いただきます。応募期間は、2007年7月18日(水)から9月4日(火)まで(必着)で、応募者多数の場合は抽選となります。

東急グループでは、沿線にお住まいの皆さまに東急グループを身近に感じていただけるよう、グループの文化施設であるBunkamuraでコンサートやイベントを開催するなど、さまざまなコミュニケーション活動を行っています。

「TOKYU PRESENTS 和」～Vol.2～打楽器ライブの概要および応募方法などの詳細は、別紙1をご覧ください。

以 上

(別紙1)

「TOKYU PRESENTS 和」～Vol.2～打楽器ライブの概要および応募方法

名 称	「TOKYU PRESENTS 和」～Vol.2～打楽器ライブ
主催・企画	東急グループ、東京急行電鉄
制作・運営	東急エージェンシー
開催日時	2007年10月2日(火) 18:00開場、19:00開演
会 場	Bunkamura オーチャードホール(東京都渋谷区道玄坂2-24-1)
出演者	別紙2をご参照ください。 出演者は変更になる場合があります。
招待者数	ペアで1,000組2,000名 応募者多数の場合は抽選となります。
入 場 料	無料
応募方法	次のいずれかの方法

インターネットによる応募

東急グループホームページ(<http://www.tokyu.co.jp/group/>)の応募フォームからお申込みいただけます。抽選結果はEメールでお知らせし、当選された方には招待状(座席指定券引換状)を郵送します。

郵送(往復はがき)による応募

往復はがき(裏面)に郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号を、返信はがき(表面)に郵便番号・住所・氏名をそれぞれご記入の上、下記の応募先までご郵送ください。抽選の結果を返信はがきにてお知らせします。当選された場合は、返信はがきが招待状(座席指定券引換状)となります。なお、往復はがき以外によるご応募は無効となります。

応募にあたっての注意点

- ・小学生未満のお子様は、ご入場いただけません。
- ・応募はおひとりさま1回限りとさせていただきます。
- ・抽選結果は9月19日ごろまでに通知します。
- ・お客様の個人情報は、抽選結果の通知、招待状の送付、応募資格の確認および個人を特定しない統計資料の作成のみに使用させていただきます。

【応募先】〒225-0003 横浜市青葉区新石川2-5-5 東急電鉄「打楽器ライブ」係

応募期間 2007年7月18日(水)から9月4日(火)まで(必着)

その他 応募方法を含めた詳細は、ホームページ(<http://www.tokyu.co.jp/group/>)、または東急線各駅(一部の駅を除く)・東急グループの主な事業所にあるチラシでご覧いただけます。

お客さまからのお問い合わせ先

東急お客さまセンター TEL:03-3477-0109 FAX:03-3477-6109

《営業時間》月～金 8:00～20:00 土日祝 9:30～17:30(年末年始等を除く)

以 上

(別紙2)

## 出演者のプロフィール

### 和太鼓若衆 畿(おと) <岡谷太鼓>

1969年、地域の活性化を目指して開催された太鼓の一大フェスティバル「岡谷太鼓まつり」。その後打ち手は増え続け、現在では30チームを数えるまでになり、「岡谷太鼓」は市民の誇る郷土芸能として定着した。「和太鼓若衆 畿(おと)」は保存会の中でもエネルギッシュな演奏で有名。“侍魂を忘れず粋で男らしい太鼓”を信条として、岡谷だけではなく全国各地に活動の場を広げている。

“おと”は“音”に“鼓”で一文字(造語)

### 望月 太三郎 <鼓>

1967年、長唄三味線杵屋五三吉の次男として生まれる。1989年、東京芸術大学を卒業。卒業後、囃子方として歌舞伎公演、舞踊公演、演奏会等に出演。芸大在学中より杵屋崇光氏らと「THE家元」を結成し、現在までに2枚のCDを発表。「箏座」、寺田創一等のレコーディング、ライブなどにも参加し、1992年、日本音楽集団に入団。アメリカ公演や定期公演にも出演する。現在は歌舞伎座公演などを中心に活動している。

### 筑紫寿楽 <博多金獅子太鼓>

470年の歴史をもつ「筑前博多独楽」の後継者であり、同時に太鼓奏者という二つの顔をもつ。金獅子太鼓の国内でのコンサート活動はもちろん、アメリカをはじめヨーロッパ、アジアなどでも高い評価を得ている。古典の域に留まらず、JAZZ、オーケストラ、また吉田兄弟をはじめとした数々のアーティストとも競演。中でも今回の、ピアニスト岩崎大輔とのコラボレーションには注目が集まる。来年2月、米国ワシントンDC主催のコンサートに出演。

### 舞太鼓 あすか組 <舞太鼓>

「日本舞踊飛鳥流」家元飛鳥峯王に師事し、関西芸術祭賞・国際新聞社賞など受賞の舞踊家・飛鳥大五郎が1990年に創設した和太鼓グループ。和太鼓の力強さに日本舞踊の持つ優雅なフォーム、歌舞伎、能、狂言を取り入れ融合させた、華やかで独創的な舞太鼓のスタイルを創作し、日本の美を再認識させる舞台を展開。国内外で数々の公演を行っている。代表の飛鳥大五郎は、和太鼓の指導者としても評価が高く、全国各地で育成した和太鼓グループは60余チーム・1600人を超えている。

### 林家たい平 <ナビゲーター>

現在、「笑点」の大喜利メンバーとして活躍中。明るく元気な林家伝統のサービス精神を受け継ぎながらも、古典落語を現代に広めるために努力を続け、落語の楽しさを広めている。年6回行う自らの独演会を中心に、全国でも数多くの落語会を行っており、これからの落語会をになう今もっとも注目をあびる噺家である。

出演者等が変更になる場合があります。

出演者の写真をデータでご用意していますので、必要な場合はご連絡ください。

以上